

# \*国外宣教 祈りの課題\* 2026年2月 (この課題を祈祷会などでぜひご活用ください)

<p>ブラジル 浜田 献 陽子 はまだけん ようこ</p> <p>ブラジリア アライアンス キリスト 宣教教会</p> 	<p>ヴァルゼンボニータの公立学校で許可がおりて、サッカーチームを始められるように。ブラジリア教会が靈的に刷新され、御靈とみことばによって力強く前進していくように。浜田先生ご家族を通して、キリストの福音が豊かに広く宣べ伝えられるように。日系人の救いのために、お祈りください。</p>	<p>タイ 長谷部愛実 はせべあいみ (委託派遣宣教師) チェンマイ 日本語 キリスト 教会</p> 	<p>在住邦人の救いと信仰生活の祝福のために日本語教会が用いられるように。現地教会との宣教協力が祝され、邦人信徒のタイ人家族にも救いが拡がるように。タイ、ミャンマー、カンボジアの平和と国境沿いにおける宣教の守りのために。長谷部先生の日々の生活が守られるように、お祈りください。</p>
<p>オペレーションワールドより アジア21の国</p>	<p>朝鮮民主主義人民共和国のために。1907年ピョンヤンリバイバルから教会が始まったとされていますが、その後、多くの殉教者を出し、他国への亡命者を出しました。今も尚、10万人以上のキリスト者が強制労働を強いられていると言われます。過酷な環境が続きます。祈りましょう。</p>	<p>世界のために</p>	<p>2025年は生成AIが飛躍した年と言ってよいのかもしれません。2026年は更なる進展がみられるでしょう。AIが発展することで、人間の技術も世界も急激に変化していくものと思われます。教会はこの状況においてどのように宣教していくのかが問われています。主の知恵を祈り求めましょう。</p>
<p>オペレーションワールドより (最新の祈り) 2026/01/05</p>	<p>世界人口の約32%をキリスト者が占めているようです。世界中にいるキリスト者一人ひとりがキリストに堅く結び合わされて、益々、御国の到来を切望しつつ祈り行動することができるよう。イスラム教徒の多い国・地域にある教会が強められ、守られ、豊かに用いられるように、祈りましょう。</p>	<p>中国</p>	<p>クリスマスを祝うことが禁じられたためか、昨年12月はほとんどクリスマスマードが感じられずに過ぎ去ったと言われます。規制が益々厳しくなる中、教会は愚直にキリストの福音を宣べ伝え、特に家族への伝道に力を入れているようです。置かれた状況で根を張り実を結べるように、祈りましょう。</p>
<p>– ネパール – フィールド・ズームアップ(※)教会形成・アジア21、そして世界へ…</p>			<p>国外宣教委員会</p>
<p>人口:2970万人 クリスチャン人口:1.4% (2011 est.)</p> <p>祈りの課題</p> <p>迫害の時代を乗り越え、今日教会は急速に成長している。信教の自由は保障されているものの、ヒンズー教以外の宗教の伝道は禁止されている。8割の国民がヒンズー教徒である。海外からのキリスト教団体が病院、農業、教育、救援などの分野で働いている。2015年の震災被害も大きい。ネパールの教会が福音に根ざし、良き証しができるように祈ろう。</p>			<p>主の祈りにある「御国が来ますように」との祈りは宣教の祈りであると言われます。この地上では「この世の神」(コリント第二4:4)がその支配と影響力を広げようとしていることを忘れてはなりません。しかし、結末を知っている我々は、聖書の一番最後の祈りと共に主の再臨と御国の完成を祈りつつ待ち望みます(黙示録22:17)。マラナ・タ。主よ、来りませ。</p>

(※)フィールド・ズームアップの祈祷課題は「Pray for the World」(IVP Books 2015)を参照。国の人ロなどのデータは外務省HP及びCIA The World Factbookを参照。